

放課後等ディサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2022年12月30日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう笠岡1組

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	6			・利用定員は毎月法的に準じて適切に対応している。また、十分なスペースが確保できるように活動場所を分け、人数を分散させるなどの工夫をしている。
	② 職員の配置は適切である	5	1		・配置基準は満たしており法的な人員基準より多く職員配置している。
	③ 衛生面の管理が行き届いている	6			・感染対策マニュアルに基づいて実施している。 ・毎日の掃除をチェック表を使って実行・管理している。 ・手指消毒のアルコールを用意し、感染症予防に配慮している。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	6			・日々の業務の不具合を話し合い、改善できることはすぐに着手し効果を確認している。 ・ミーティングを毎日毎回パートタイム職員はミーティング記録を閲覧し確認を行っている。 ・問題点は話し合いのうえ改善策を考え、対処法を記録している。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6			・保護者様の意見を職員全体で共有し業務改善につなげるように実施している。
	⑥ 自己評価の結果を公開している	6			・自己評価の結果を集計し、書面やホームページにて公開している。
	⑦ 職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	6			・事業所内で支援や行事企画についての全体ミーティングを開催している。また虐待防止・身体拘束・権利擁護・障害特性の理解について・衛生管理・緊急時対応等の研修を受けている。 ・研修日に休みの場合、後日申し送りがある ・社内・社外の研修に積極的に参加している。
適切な支援の提供	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6			・半年ごとにモニタリング面談を実施し現状把握や、保護者様のニーズを聞きながら個別支援計画を作成している。
	⑨ 活動の計画をチームで行っている	6			・月に一回行事計画の為の会議を行い、皆でアイデアを出し合っている。実行は役割分担を決めチームで協力して行っている
	⑩ 活動の計画が固定化しないよう工夫している	6			・利用者様に合わせた取り組み、新鮮なプログラムを企画し、活動計画の考案に努めている。
	⑪ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	6			・平日、休日、長期休暇に応じて課題を決めている。また、季節にあったプログラムを企画し、狙いを持って活動内容を設定している。
	⑫ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	6			・基本的に集団活動を行っているが、子どもの状況に応じて、個別活動や集団活動を適宜組み合わせ、活動を行っている。子どもの能力に合わせて活動内容を工夫している。
	⑬ 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			・毎朝ミーティングを行い、当日の支援について打ち合わせをしている。パートタイム職員には口頭または画面にて共有している。 ・役割を明確にした表を共有し、支援がスムーズに行われる工夫をしている。
	⑭ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			・当日の記録は当日中に終わらせるように工夫している。気になる様子があればしっかりと記録し、支援の検証・改善につなげている。 ・気づきがあればその日のうちに話し、情報を共有し、ミーティング時に意見を出し合い、改善策を考え実行している。 ・表記の漏れがないように2重のチェックを行っている。
	⑮ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6			・毎月予定しているモニタリングを行い支援計画の見直しを判断している。
関係機関・保護者様との連携	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4	2		・ガイドラインを確認しながら、基本活動を複数組み合わせて支援を行っている。 ・総則の基本活動を参照し、児童の実態に合わせて様々な活動を支援をしている。
	⑰ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			・学校と連携を取り、情報共有を行っている。また、学校からも月の下校時間のお知らせや行事の予定をいただいている。
	⑱ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	6			・対象者がいない。
	⑲ 学校を卒業し、放課後等ディサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	5	1		・現在、障がい福祉サービス事業所への移行対象者がいない。
	⑳ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3		・児童発達支援センター、自立支援協議会、社会福祉課、子育て支援課等、必要に応じて連携している
⑵ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6				・利用の様子を連絡帳やコドモン、送迎時の際、保護者様にお伝えしている。また専門機関への受診の際、事業所での活動の様子を文書でお伝えし、受診結果の報告をいただく事もある。 ・気になる様子は保護者様にお伝えしている。保護者様の方から伝えてきてくださることもあり、共通理解を深めている。 ・モニタリングや電話で子どもの状況を教えてもらったことについては共通理解している。

保護者様への説明責任等	⑫ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			・契約時に説明を行っている。質問等あれば必要に応じて対応している。
	⑬ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	5	1		・送迎時・来所時・電話等で随時対応している。 ・お電話で保護者様から相談されることがある。モニタリング時や保護者様に時間を作つてもらい相談室でお話することもある。 ・専門職として面談などで困りごとに対する助言を行っている。
	⑭ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している		5	1	コロナ感染対策のため本年度は開催が困難であった
	⑮ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応している	6			・子どもや保護者様からの苦情があれば、迅速に対応し、必要に応じて相談支援専門員を含め対応している。また、苦情対応体制は整備している。
	⑯ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6			・毎月、お便り・月間行事予定表の発行、またブログにて情報発信している。
	⑰ 個人情報保護に十分注意している	6			・個人情報の扱いの書類は事業所内に保管し持ち出し厳禁を維持している。職員は就職・退職の際、個人情報保護規範の誓約書を提出している。 ・個人情報の保護に注意している。特に写真による情報の漏れに特に注意し、二重にチェックをしている。
	⑲ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			・視覚支援の活用を行っている。連絡帳、電話、コドモンを選んでいただき個々に対応を取っている。
	⑳ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている		5	1	・コロナ禍の影響で参加可能な地域行事がなく参加が難しかった。 ・夢門塾への見学はコロナ対策を行つたうえで対応している。
	㉑ 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	6			・緊急対応、防犯、感染症マニュアルを策定し、職員に周知徹底しておりすぐ手に取れる場所に置いている。
非常時などの対応	㉒ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	6			・年2回以上避難訓練を、津波・地震、火災と内容を変えて行っている。 ・年に2回する予定を年間行事予定に入れ、実施している。
	㉓ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			・毎年会社で研修を行っている。管理者は外部の研修も行っている。 ・虐待防止の研修を受けて適切に対応している。
	㉔ かかる場合も身体拘束を行つかないか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5	1		・身体拘束は行つていない(対象児童がない)。 ・契約時に身体拘束の必要がある場合についての説明はしている。
	㉕ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	6			・投薬用紙に記入・押印していただき実施しておりあづかった与薬表を職員が確認できる場所に提示し職員全体制して周知している。
	㉖ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	6			・記録を残しミーティングで話し合い、改善策を考え実行している。
保護者様評価、自己評価についてまとめ					
<p>・アンケートの結果から、保護者様やご利用者様が活動プログラムに満足し、楽しみに通つてくださっている様子が伺えた。今後も新しいアイデアや専門職の意見を多く取り入れ、運動・学習・生活プログラムを充実させていく予定。ご利用者様の様子や成長をコドモンやゆめだより、また送迎時にも口頭でしっかりとお伝えしていく。</p> <p>・「日頃の様子を保護者と職員が共有する時間があまりないと感じている」保護者様が数名いらっしゃった。送迎時に多くの事をお伝えするのは難しいが、話しやすい雰囲気づくりと共にご利用者の頑張りをしっかりお伝えするよう努める。モニタリングではZoomを使って多くの保護者様とお話させていただいた。今後も保護者様と子どもの発達状況や課題についてしっかりと情報共有をしていきたい。</p> <p>・2022年度は昨年同様コロナの影響で保護者会の開催が難しかった。感染状況を配慮しながら保護者様同士の交流を計画する予定。モニタリングをオンラインで行う機会が増え、操作に慣れてきた保護者様も増えている。対面での保護者会が難しい場合オンライン保護者会を開催する事も考えている。</p> <p>・子どもたちの外出行事についても、感染状況を見つつ屋外活動を計画し、様々な活動や新しい経験が出来る場を増やしていくたい。</p>					